



Conference Bridge の設定

Cisco CallManager 用の Conference Bridge は、ソフトウェアまたはハードウェアからなるアプリケーションです。これを使用すると、Ad Hoc 音声会議と Meet-Me 音声会議の両方が実現できます。どの方式の Conference Bridge も、複数の参加者による複数の会議を同時にサポートしています。

ハードウェア会議とソフトウェア会議の両方の Conference Bridge を同時にアクティブにすることができます。ソフトウェアとハードウェアのコンファレンス デバイスでは、サポートするストリーム数とコーデックのタイプが異なります。

Conference Bridge の詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「Conference Bridge」を参照してください。



(注)

Conference Bridge 用のハードウェア モデルには、固有のメディア アクセス制御 (MAC) アドレスとデバイス プールの情報が組み込まれています。



(注)

選択する Conference Bridge のタイプによって、Cisco CallManager Administration に表示される Conference Bridge のフィールドが異なることに注意してください。

Conference Bridge を設定するには、次のトピックを参照してください。

- [Conference Bridge の検索 \(P.54-2\)](#)
- [ソフトウェア Conference Bridge の設定について \(P.54-3\)](#)
- [ソフトウェア Conference Bridge の設定値 \(P.54-4\)](#)
- [ハードウェア コンファレンス デバイスの追加 \(P.54-5\)](#)
- [ハードウェア Conference Bridge の設定値 \(P.54-6\)](#)
- [Cisco IOS Conference Bridge デバイスの追加 \(P.54-7\)](#)
- [Cisco IOS Conference Bridge の設定値 \(P.54-8\)](#)
- [Cisco Video Conference Bridge デバイスの追加 \(P.54-9\)](#)
- [Cisco Video Conference Bridge の設定値 \(P.54-10\)](#)
- [Cisco Conference Bridge \(WS-SVC-CMM\) デバイスの追加 \(P.54-11\)](#)
- [Cisco Conference Bridge \(WS-SVC-CMM\) の設定値 \(P.54-12\)](#)
- [コンファレンス デバイスの更新 \(P.54-13\)](#)

- [コンファレンス デバイスの削除 \(P.54-14\)](#)
- [Meet-Me Number/Pattern の設定 \(P.50-4\)](#)
- [Meet-Me Number/Pattern の設定値 \(P.50-5\)](#)
- [Meet-Me Number/Pattern の削除 \(P.50-6\)](#)

Conference Bridge の検索

ネットワーク内にはいくつかの Conference Bridge が存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定の Conference Bridge を見つけることができます。Conference Bridge を見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco CallManager Administration では、ブラウザ セッションでの作業中は、Conference Bridge の検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Conference Bridge の検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 **Media Resources > Conference Bridge** の順に選択します。

Find and List Conference Bridges ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、Conference Bridge を検索します。

ステップ 2 最初の Find Conference Bridges where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Name
- Description
- Device Pool

2 番目の Find Conference Bridges where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)
- is not empty (非空白)
- is empty (空白)

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



ヒント

データベースに登録されている Conference Bridge をすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出された Conference Bridge のリストが、次の項目別に表示されます。

- Conference Bridge icon
- Conference Bridge name
- Description
- Device Pool
- Status (状況)
- IP Address



(注) 該当する Conference Bridge の横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、Find and List Conference Bridges ウィンドウから複数の Conference Bridge を削除できます。Matching Records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての Conference Bridge を削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致する Conference Bridge のアイコンか名前、または関連する Device Pool をクリックします。

選択した Conference Bridge がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ソフトウェア Conference Bridge の設定について

管理者は、Conference Bridge Configuration を使用して、ソフトウェア Conference Bridge を Cisco CallManager に追加することはできません。ソフトウェア Conference Bridge は、Cisco CallManager サーバが追加されるときに、自動的に追加されます（詳細については、P.2-4 の「[サーバの設定](#)」を参照してください）。Cisco CallManager サーバの追加後、管理者が検索を実行すると、Find/List Conference Bridges ウィンドウにソフトウェア Conference Bridge が表示されます（デフォルトでは、最初のソフトウェア Conference Bridge は Cisco CallManager のインストール時に設定されます）。ソフトウェア Conference Bridge は更新可能ですが、削除はできません。

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ソフトウェア Conference Bridge の設定値

表 54-1 では、ソフトウェア Conference Bridge の設定値について説明します。

表 54-1 ソフトウェア Conference Bridge の設定値

フィールド	説明
Conference Bridge Type	このフィールドには、Cisco Conference Bridge ソフトウェアが自動的に表示されます。
Host Server	このフィールドには、このソフトウェア Conference Bridge が設定されている Cisco CallManager サーバが自動的に表示されます。
Conference Bridge Name	このフィールドには、ソフトウェア Conference Bridge の名前が自動的に表示されます。名前の形式では、CFB_ の後ろに、ソフトウェア Conference Bridge の値を表す番号が続きます。たとえば、CFB_3 は Cisco CallManager システムの 3 番目の Conference Bridge を表します。
Description	このフィールドには説明が自動的に表示されます。管理者はこのフィールドを更新できません。
Device Pool	使用している Cisco CallManager グループの中で一番高い優先度をもつ デバイス プールを選択するか、または Default を選択します。
Location	この Conference Bridge に適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>Hub_None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、この Conference Bridge が消費する帯域幅を把握しません。

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ハードウェア コンファレンス デバイスの追加

ハードウェア コンファレンス デバイスを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイス プールを設定します。P.9-1 の「[デバイス プールの設定](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 **Media Resources > Conference Bridge** の順に選択します。

ステップ 2 **Add New** をクリックします。

Conference Bridge Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 54-2 を参照)。

ステップ 4 **Save** をクリックします。

ステップ 5 **Reset** をクリックして、Conference Bridge デバイスをリセットし、変更内容を適用します。

Device Reset ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 **Reset** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ハードウェア Conference Bridge の設定値

表 54-2 では、ハードウェア Conference Bridge の設定値について説明します。

表 54-2 ハードウェア Conference Bridge の設定値

フィールド	説明
Conference Bridge Type	<p>Cisco Conference Bridge Hardware を選択します。</p> <p>詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco CallManager Administration における Conference Bridge のタイプ」を参照してください。</p>
MAC Address	<p>固有のデバイス MAC アドレスを入力します。MAC アドレスは、12 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F) から構成されます。</p> <p>例</p> <p>1231123245AB</p>
Description	このフィールドは、指定された MAC アドレスから自動的に生成されません。
Device Pool	使用している Cisco CallManager グループの中で一番高い優先度をもつデバイス プールを選択するか、または Default を選択します。
Location	この Conference Bridge に適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>Hub_None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、この Conference Bridge が消費する帯域幅を把握しません。
Special Load Information	特別なロード情報を入力するか、ブランクのままにしてデフォルトを使用します。

追加情報

P.54-15 の「関連項目」を参照してください。

Cisco IOS Conference Bridge デバイスの追加

Cisco IOS コンファレンス デバイスを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイス プールが設定済みであること。P.9-1 の「[デバイス プールの設定](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 **Media Resources > Conference Bridge** の順に選択します。

ステップ 2 **Add New** をクリックします。

Conference Bridge Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 54-3 を参照)。

ステップ 4 **Save** をクリックします。

ウィンドウがリフレッシュされ、追加したコンファレンス デバイスが表示されます。

ステップ 5 **Reset** をクリックして、Conference Bridge デバイスをリセットし、変更内容を適用します。

Device Reset ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 **Reset** をクリックします。

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco IOS Conference Bridge の設定値

表 54-3 では、Cisco IOS Conference Bridge の設定値について説明します。

表 54-3 Cisco IOS Conference Bridge の設定値

フィールド	説明
Conference Bridge Type	Cisco IOS Conference Bridge または Cisco IOS Enhanced Conference Bridge を選択します。 詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco CallManager Administration における Conference Bridge のタイプ」を参照してください。
Conference Bridge Name	ゲートウェイのコマンドライン インターフェイス (CLI) で既存の同じ名前を入力します。
Description	このフィールドは、指定した Conference Bridge 名から自動的に生成されます。
Device Pool	デバイス プールを選択するか、 Default を選択します。
Location	この Conference Bridge に適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>Hub_None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、この Conference Bridge が消費する帯域幅を把握しません。

追加情報

P.54-15 の「関連項目」を参照してください。

Cisco Video Conference Bridge デバイスの追加

Cisco Video Conference Bridge デバイスを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイス プールが設定済みであること。P.9-1 の「[デバイス プールの設定](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 **Media Resources > Conference Bridge** の順に選択します。

ステップ 2 **Add New** をクリックします。

Conference Bridge Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 54-4 を参照)。

ステップ 4 **Save** をクリックします。

ウィンドウがリフレッシュされ、追加したコンファレンス デバイスが表示されます。

ステップ 5 **Reset** をクリックして、Conference Bridge デバイスをリセットし、変更内容を適用します。

Device Reset ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 **Reset** をクリックします。

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Video Conference Bridge の設定値

表 54-4 では、Cisco Video Conference Bridge の設定値について説明します。

表 54-4 Cisco Video Conference Bridge の設定値

フィールド	説明
Conference Bridge Type	<p>Cisco Video Conference Bridge (IPVC-35xx) を選択します。</p> <p>詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco CallManager Administration における Conference Bridge のタイプ」を参照してください。</p>
MAC Address	<p>固有のデバイス MAC アドレスを入力します。MAC アドレスは、12 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F) から構成されます。</p> <p>例</p> <p>1231123245AB</p>
Description	このフィールドは、指定した Conference Bridge 名から自動的に生成されます。
Device Pool	デバイス プールを選択するか、 Default を選択します。
Location	この Conference Bridge に適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>Hub_None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、この Conference Bridge が消費する帯域幅を把握しません。
プロダクト固有の設定値	
Model-specific configuration (デバイス メーカーによって指定される、モデル固有の設定フィールド)	<p>Product-Specific Configuration の下にあるモデル固有のフィールドは、デバイス メーカーによって指定されます。これらのフィールドは動的に設定されるため、予告なく変更される場合があります。</p> <p>フィールドの説明、およびプロダクト固有の設定項目のヘルプを表示するには、Product Specific Configuration 見出しの下にある「?」情報アイコンをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスにヘルプが表示されます。</p> <p>詳細な情報が必要な場合は、設定する個々のデバイスの資料を参照するか、製造メーカーにお問い合わせください。</p>

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Conference Bridge (WS-SVC-CMM) デバイスの追加

Cisco Conference Bridge (WS-SVC-CMM) デバイスを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイス プールが設定済みであること。P.9-1 の「[デバイス プールの設定](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 **Media Resources > Conference Bridge** の順に選択します。

ステップ 2 **Add New** をクリックします。

Conference Bridge Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 54-5 を参照)。

ステップ 4 **Save** をクリックします。

ウィンドウがリフレッシュされ、追加したコンファレンス デバイスが表示されます。

ステップ 5 **Reset** をクリックして、Conference Bridge デバイスをリセットし、変更内容を適用します。

この操作を実行すると Conference Bridge デバイスがリセットされることを確認するメッセージが表示されます。

ステップ 6 **Reset** をクリックします。

追加情報

P.54-15 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Conference Bridge (WS-SVC-CMM) の設定値

表 54-5 では、Cisco Conference Bridge (WS-SVC-CMM) の設定値について説明します。

表 54-5 Cisco Conference Bridge (WS-SVC-CMM) の設定値

フィールド	説明
Conference Bridge Type	<p>Cisco Conference Bridge (WS-SVC-CMM) を選択します。</p> <p>詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco CallManager Administration における Conference Bridge のタイプ」を参照してください。</p>
Description	<p>説明 (最大 50 文字) を入力するか、ブランクのままにします。ブランクのままにすると、指定した MAC アドレスから自動的に生成されます。</p>
MAC Address	<p>固有のデバイス MAC アドレスを入力します。MAC アドレスは、12 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F) から構成されます。</p> <p>例</p> <p>1231123245AB</p>
Subunit	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、Communication Media Module カード上の任意のスロット用のドータカードの値を選択します。</p>
Device Pool	<p>デバイス プールを選択するか、Default を選択します。</p>
Location	<p>この Conference Bridge に適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>Hub_None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、この Conference Bridge が消費する帯域幅を把握しません。</p>
Maximum Capacity	<p>ドータカード上の任意のサービスのストリームの最大数を選択します。ストリーム数の値には、32、64、96、および 128 を使用できます。各ドータカードに、選択した値と同じ数のポートがあることを確認してください。</p>
プロダクト固有の設定値	
Model-specific configuration (デバイス メーカーによって指定される、モデル固有の設定フィールド)	<p>フィールドの説明、およびプロダクト固有の設定項目のヘルプを表示するには、Product Specific Configuration 見出しの下にある「？」情報アイコンをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスにヘルプが表示されます。</p> <p>詳細な情報が必要な場合は、設定する個々のデバイスの資料を参照するか、製造メーカーにお問い合わせください。</p>

追加情報

P.54-15 の「関連項目」を参照してください。

コンファレンス デバイスの更新

コンファレンス デバイスを更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから手順に進んでください。

- サーバが設定済みであること。P.2-1 の「サーバの設定」を参照してください。
- デバイス プールが設定済みであること。P.9-1 の「デバイス プールの設定」を参照してください。
- コンファレンス デバイスが設定済みであること。コンファレンス デバイスの追加については、該当する項を参照してください。



(注) ソフトウェア Conference Bridge は、Cisco CallManager サーバが作成されるときに、自動的に作成されます。P.54-3 の「ソフトウェア Conference Bridge の設定について」を参照してください。

- ソフトウェア Conference Bridge に対して、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスをアクティブにする。『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

手順

- ステップ 1** P.54-2 の「Conference Bridge の検索」の手順を使用して、Conference Bridge を見つけます。
- ステップ 2** 更新する Conference Bridge をクリックします。
- ステップ 3** 該当する設定値を更新します（表 54-1、表 54-2、表 54-3、表 54-4、または表 54-5 を参照）。
- ステップ 4** 変更の終了後、**Save** をクリックします。

追加情報

P.54-15 の「関連項目」を参照してください。

コンファレンス デバイスの削除

コンファレンス デバイスを削除する手順は、次のとおりです。Cisco Conference Bridge ソフトウェアは削除できません。P.54-3 の「ソフトウェア Conference Bridge の設定について」を参照してください。

始める前に

Cisco CallManager では、メディア リソース グループなどの要素に関連付けられている可能性のあるデバイスを削除できます。コンファレンス デバイスに存在する可能性のある依存関係を検索するには、Conference Bridge Configuration ウィンドウで、ドロップダウンリストボックスから **Dependency Records** リンクを選択し、**Go** をクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、P.A-4 の「Dependency Records へのアクセス」を参照してください。

手順

ステップ 1 P.54-2 の「Conference Bridge の検索」の手順を使用して、Conference Bridge を見つけます。

ステップ 2 削除する Conference Bridge をクリックします。

ステップ 3 **Delete Selected** をクリックします。

次の警告メッセージが表示されます。

You are about to permanently delete this Conference Bridge.This action cannot be undone.Continue?

ステップ 4 **OK** をクリックして、コンファレンス デバイスを削除します。

追加情報

P.54-15 の「関連項目」を参照してください。

参考情報

- *Cisco IP/VC 3511 MCU and Cisco IP/VC 3540 MCU Module Administrator Guide*
- *Cisco CallManager システム ガイド*
- *Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド*

関連項目

- [Conference Bridge の検索 \(P.54-2\)](#)
- [ソフトウェア Conference Bridge の設定について \(P.54-3\)](#)
- [ソフトウェア Conference Bridge の設定値 \(P.54-4\)](#)
- [ハードウェア コンファレンス デバイスの追加 \(P.54-5\)](#)
- [ハードウェア Conference Bridge の設定値 \(P.54-6\)](#)
- [Cisco IOS Conference Bridge デバイスの追加 \(P.54-7\)](#)
- [Cisco IOS Conference Bridge の設定値 \(P.54-8\)](#)
- [Cisco Video Conference Bridge デバイスの追加 \(P.54-9\)](#)
- [Cisco Video Conference Bridge の設定値 \(P.54-10\)](#)
- [Cisco Conference Bridge \(WS-SVC-CMM\) デバイスの追加 \(P.54-11\)](#)
- [Cisco Conference Bridge \(WS-SVC-CMM\) の設定値 \(P.54-12\)](#)
- [コンファレンス デバイスの更新 \(P.54-13\)](#)
- [コンファレンス デバイスの削除 \(P.54-14\)](#)
- [Meet-Me Number/Pattern の設定 \(P.50-4\)](#)
- [Meet-Me Number/Pattern の設定値 \(P.50-5\)](#)
- [Meet-Me Number/Pattern の削除 \(P.50-6\)](#)
- [参考情報 \(P.54-15\)](#)
- 『*Cisco CallManager システム ガイド*』の「[Conference Bridge](#)」
- 『*Cisco CallManager システム ガイド*』の「[Cisco CallManager Administration における Conference Bridge のタイプ](#)」

